

## 除雪機を整備しました～(財)自治総合センター コミュニティ助成事業～



(財)自治総合センターでは、宝くじの受託事業収入により一般コミュニティ助成事業を実施しております。

村ではこの事業を活用し、今年度は中型除雪機3台、歩み板3セットを購入しました。

この購入した除雪機は、要望のある部落会に対して貸出して、老人世帯や一人暮らし世帯の除雪作業に役立ててもらうこととしております。なお、今年度の貸出しは2月1日から行うこととしておりますが、詳しくは、村経営企画課へお問い合わせください。



助成事業で購入した除雪機と歩み板

## 小正月の伝統行事と現在に伝える

1月16日、上田代地区で「じえんこまき」が行われました。「じえんこまき」は、牛馬の神様とされる蒼前様に牛の健康や家内安全を祈願し、神棚で清められた縁起のよい小銭、米などを家の前で撒く小正月の伝統行事で、家主から小銭が豪快に撒かれると、老若男女を問わず満面の笑顔で雪の上を駆け回り、元気よく拾い集めていました。

また、1月15日～16日、村内の各集落で「田植えもちつき踊り」が行われました。田植えもちつき踊りは、各地区の婦人会を中心に伝承されており、女性の正月とも言われる小正月に披露されます。婦人たちは、鮮やかな着物に身を包み神社や各戸で踊り、今年一年の豊作、家内安全を祈願しました。



じえんこまき (上田代)



田植えもちつき踊り (左：尻労、右：老部)

## こども園ひがしどおりおゆうぎ会

平成25年12月14日、こども園ひがしどおりにおいて、第2回おゆうぎ会が行われました。

おゆうぎ会は0～3歳児までの第1部と4～5歳児の第2部に分かれ、園児たちの元気いっぱいのかわいい遊戯や劇が披露されました。

わが子や孫の晴れ姿を見ようと早朝より多くのお客さんが集まり、園児たちの踊りが披露されるたびに、大きな歓声と拍手があがっていました。

